

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライク西長堀教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 47
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者同士の仲が良く、明るい雰囲気作り。	・活動内容を固定化しない。 利用者の得意不得意を分けて、満遍なく意欲的に取り組めるよう工夫	・職員間で密なコミュニケーション作り。 常に新しい取組み(活動)を考案し実践
2	・療育スペースでの死角が少ないよう配慮。 都度利用者の様子を伺えるよう職員が目が行き届きやすい	・季節・行事に応じた制作・掲示等を取り入れている	・利用者の好きな物・興味のある事を活動内容へ反映。
	・カリキュラムの流れを絵や図を用いて目視認識しやすく提示。 声掛けも勿論の事、意欲的に馴染みやすい環境設定を構築	・タイピング記録会や検定を開催。 自信に繋げる成功体験の場を増やす。 利用者各々のモチベーション向上を図る。	・タイピング・プログラミング等、常々PCでの取組み。 意欲が沸くような企画・課題の設定。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
	・区画整理(特に余暇スペースや休憩場)が曖昧になる。	・PC(プログラミング・タイピング等)、学習・読書、おやつ等のカリキュラム編成 場所をきっちり棲み分けできず、落ち着いて取組めない状況が発生。	・状況把握・区画整備 利用者各々がストレスなく過ごしやすい環境作りを進める。
2			
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 ミライク西長埜教室

公表日 令和8年3月2日

利用児童数 53

回収数 47

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	43			4		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	45			2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	42	2		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	47					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	47					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	47					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40	4		3	本人支援については積極的に 行ってもらっているが、家族支援 ・移行支援については不明。	家族支援・移行支援についても、 各家庭やその他取り囲む状況に応じた 支援体制を整える。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	46			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	24	8	6	9	地域の他の子どもと活動することが あるのかわからない。	地域の行事や交流プログラムへ、集団活 動等を交えながら積極的参加を實踐。
保護 者への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47				契約時にご説明いただいております。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47				契約時にご説明いただいております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	6	8	8	家族への支援プログラムについては お聞きしたことがない。	家族支援についての情報提供を、 細やかに分かりやすい提示として推進す る。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	47				送迎時での対面対応、電話やLINEでの 細やかな配慮に感謝しております。	今後も全職員が徹底のもと、引継ぎ等怠 らず進めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	2		3	子育ての助言等の支援は受けていない。	乗き 実行に移しやすい支援等のコミュニケー ションを怠らない。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47				送迎時での対面対応、電話やLINEでの 細やかな配慮に感謝しております。	今後も全職員が徹底のもと、引継ぎ等怠 らず進めていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	14	6	10	保護者同士の交流やきょうだい同士の 交流の機会があったのかわからない。	父母参加型のカリキュラム、ご利用児童 以外のきょうだい含めた共有イベントも 参加を募り検討。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41	2		4	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	47				送迎時での対面対応、電話やLINEでの細やかな配慮に感謝しております。 今後も全職員が徹底のもと、引継ぎ等怠らず進めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	43			4	ブログの更新を楽しみにしています。  定期的な更新を継続。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	45			2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	39	2		6	活動内容で事前にお知らせいただけます。  職員間だけではなく、利用者様も交えた取り組みを定期的に実施。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	43			4	活動内容で事前にお知らせいただけます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	47				活動内容で事前にお知らせいただけます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	43	1		4	事故等がない為。  持病・イレギュラーでの事故等の怪我等を含めて、起こるべく事態に備えて事業所での伝達・連携方法を全職員で徹底共有。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	47				先生との関係性もよく、自宅でもミライクでの内容を話してくれる機会が増えました。  引き続き利用者様の様子を都度伺いながら、距離感・伝え方・安心感を心がける。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	46	1			友達同士の交流が増え、嬉しく思います。  楽しく穏やかに過ごせるよう、意見交換や意思疎通を随時図れる環境作りを構築。
	29	事業所の支援に満足していますか。	47				毎回魅力的なプログラムが充実し、本人が通所の度楽しんでいる。  関係性・スキル等のバランスで、良い点を伸ばせるべく常にカリキュラムを活性化。

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ミライク西長堀教室		公表日		令和8年 3月2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		細かな配置を区切りながら、療育スペースを設置している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		人員基準を順守した上で配置。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		施設内の段差や障害物等を無くしスムーズに移動ができるよう配慮。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の清掃時間を設け、整理整頓を含めて美化を保つよう取り組んでいる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		指導訓練室と静養室 その場に応じた使い分けで集中できるスペースを確保。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	職員全体・個別ミーティングで振り分けて意見交換し業務効率化を図っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	引き続き保護者の意向を把握し業務改善につなげていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員全体・個別ミーティングで振り分けて意見交換し支援へ活かしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	外部評価はまだ行ってないので今後どのような形で評価を受けるかを検討している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	定期的にスキルアップ研修の実施。 外部研修は年に一回以上の参加としている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		特性・その都度様子に応じた支援プログラムを作成。ホームページにて公開。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用開始前や過程の中で都度ミーティングにて全職員共有で行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		全職員で意見交換のもと実施。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画に沿いながらも、特性や都度様子の変化に対応できるよう事前共有を心掛けている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		事業所で作成しているアセスメントシートを都度活用。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		計画書にて、項目ごとにねらい・内容含めた記載を設定済み。 分かりやすく明確な具体案を提示。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		全職員で意見交換のもと実施。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎曜日に分けて活動を変更。安全管理を徹底のもと外出活動も取入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の課題とニーズに応じて職員と1対1の時間や、SSTの為に集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		職員間でのスケジュール把握 口頭・書面ミーティングで徹底している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		全体ミーティングのみならず個別でも都度気付いた点を共有。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		活動内容記録を共有のうえ検証・改善につなげる。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		必要に応じた見直しを実施。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		その場に応じた臨機黄変な対応も念頭に、あくまでも基本活動に沿った支援の強化。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		アセスメントを基に、短期・長期目標での支援計画を策定。 利用者様各々の特性を活かしたうえで、環境や対人関係に注力しながら実践。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者を主として、経験・状況把握に長けた職員の参画。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	地域会合での繋がり、学校や事業所内での担当会議を交え、関係機関との連携をスムーズに図れるよう対応している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者様を通じて下校時刻の確認・連絡調整などを行っており、その都度対応できるように努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	保育所や幼稚園との直接の情報共有は乏しい、相談支援所を通じて情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	卒業する年齢の利用者様がまだいないが、必要に応じて情報共有は行っていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	年4、5回程の地域会合での出席で、他専門機関との連携や研修を受講済み。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	現状では交流の機会がない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		会合がある際は事前準備の基、出席。もしくはオンラインでの参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時などの時間で状況を伝えている。必要に応じては時間を設け事業所等でお話をさせて頂くこともある。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		現状ではペアレントトレーニングは行っていない 今後取り組むために必要な事を事業所内で検討段階。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用開始前、契約時に重要事項等含めて説明。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		利用開始前の説明や利用後のモニタリングでお子様・保護者様共に希望・移行を汲み取り、相違の無い計画書を作成。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		利用開始前・契約時に重要事項等含めて、利用後は都度モニタリングにて同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		家庭訪問・事業所内にて状況にあわせて対応させて頂く。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	現状、個別での対応のみ。 交流会の希望も伺いながら進めていく。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		家庭訪問・事業所内にて迅速に対応させて頂く。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		利用予定表・活動内容スケジュール等都度配布させて頂いている。その他ブログでのご案内。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		全職員が共有事項として厳重に管理。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		利用者様の特性、家庭環境等を把握したうえで配慮。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		現時点では未定。 地域の方を招待するイベントは行っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルは策定済み。職員の周知は行っているが 保護者様には行き届いておらず。 今後配布できるような形を進める。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年に二回以上の防災・避難訓練の実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		利用開始前に口頭・書面を用いて都度確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医師の指示書も含めて 食物を扱う際は留意するようになっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		マニュアルは策定済み。職員の周知徹底と、研修・勉強会で用いた内容を実践。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		対面での説明・書面やLINE、様々なツールを使用したうえでご家族様へ浸透しやすい状況を構築。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		細かな所、ケガに繋がらなかった事でも積極的にヒヤリハット事例を作成している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		引き続き、定期的に管理者・児童発達支援責任者を中心に 職員同士の研修機会を設けていく。	

54	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	7	<p>身体拘束について全職員徹底共有のもと研修を实践。活動中や予期せぬ物事に対して利用者様の安全確保を優先。行動制限に関しては事前に保護者様に説明し了承を得ている。</p>	
----	----------------------------------------------------------------------------------------	---	----------------------------------------------------------------------------------------	--